

笑学研究所 スタッフ紹介



〈所 長〉高垣 伸博
本学国際教養学部教授
(マスコミ論、放送演芸論)



〈副所長〉木村 英樹
本学客員教授
(言語学、中国語学)



〈所 員〉浦 光博
本学大学院長
心理学部長・教授
(社会心理学)



〈所 員〉真銅 正宏
本学学長代理、副学長
国際教養学部教授
(日本近現代文学)



〈所 員〉辰本 頼弘
本学社会学部教授
(スポーツ科学)



〈所 員〉広瀬 依子
本学国際教養学部講師
(上方芸能、伝統芸能)



〈所 員〉横田 修
本学社会学部准教授
(演技・演劇教育論)

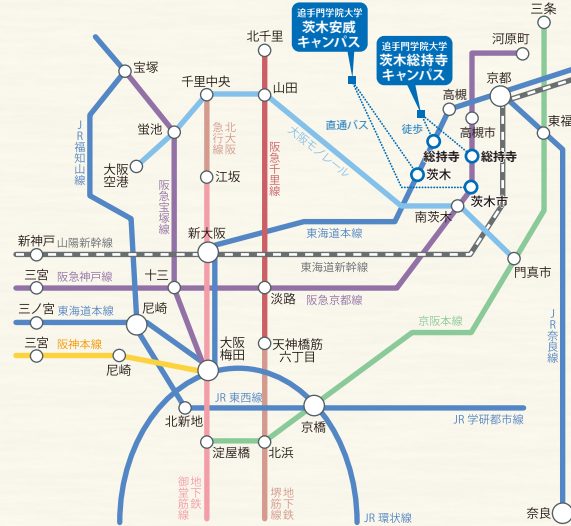
〈客員研究員〉

- 大坂 幸司 株式会社日本旅行勤務
追手門学院大学校友会理事
- 大谷 邦郎 グッドニュース情報発信塾塾長
NPO 発達障害を持つ大人の会(DDAC)監事
- 木村 未来 追手門学院大学国際教養学部非常勤講師
- 瀬沼 文彰 西武文理大学兼任講師
桜美林大学非常勤講師、日本笑い学会理事

〈特別顧問〉

- 坂井東洋男 本学学事顧問、元・学長
- 西上 雅章 通天閣観光(株)代表取締役社長、本学客員教授

交通アクセス



直通バスのりば

JR 茨木駅・
大阪モノレール宇野辺駅



阪急茨木市駅
(西口)



追手門学院大学 笑学研究所

〒567-8502 大阪府茨木市西安威2丁目1番地15号
TEL. 072-665-5024
FAX. 072-665-5034
E-mail: showgaku@otemon.ac.jp

© 2019.5



追手門学院大学
しょうがく
笑学研究所
The Center for Laughter and Humor Studies



おうてもん
追手門学院大学

設立趣旨

教育機関である大学で、笑いの研究や教育が意義あるものとするれば、プロ芸人の養成を目的とするものでもなければ、娯楽としての寄席芸能を堪能するためでもなく、ぎくしゃくした人間関係を解きほぐし、コミュニケーションを豊かにするための有力な手段としての笑わせる能力や技能の分析研究であろう。

思わず微笑させ、哄笑させる機微やつばを会得することは、社会人として、また組織人として極めて高等な総合的な能力に関わっているといえよう。

「笑学^{しょうがく}」とは、笑いと知の融合をめざす、総合的な学問研究であり、冒険的な学への挑戦という意味がこの言葉に込められている。

「笑学研究所」はその研究と活動を通して、まさに、人生の楽しさと人間の幸福に、また人材の育成に貢献していきたいと考える。そのような意味から、「笑う門には福来る」という日本の諺を、本研究所のモットーにしたい。

現代の社会変化、国際化のなかで、人とのコミュニケーションや自己表現のための能力は必要不可欠でありコミュニケーション力、人間関係能力、プレゼン能力の育成が大学の教育に要請されている。笑いとユーモアへの理解、笑いを通じたコミュニケーション力の育成のために、本学の教育プログラムや教育方法に関する、実践的な研究を進めることこそ、本研究所の大きな課題である。

追手門学院大学は文科系の総合大学としての学問的蓄積を生かし、人類の誇りうる能力であり文化である笑いを対象にした、総合的な学問研究^{しょうがく}を發展させることを目的に創立50周年事業として、「笑学研究所」を設置するものである。

笑いと知の融合をめざして

KEYWORD

笑い	ユーモア	大阪文化
上方芸能	放送演芸	大阪弁
人間関係	自己表現	コミュニケーション

研究テーマ




- (1)笑いとコミュニケーション能力の育成
- (2)笑いと教育
- (3)現代の若者の笑い
- (4)グローバル文化としての笑いとユーモア
- (5)大阪文化（上方文化）と笑い
- (6)放送演芸と笑いの文化

主な事業

- (1)笑いとユーモアの文化に関する研究
- (2)笑いを活用した教育プログラムの研究及び実施
- (3)上方芸能に関する研究
- (4)上記(1)、(2)、(3)に関する出版事業
- (5)上記(1)、(2)、(3)に関する講演会、シンポジウム等の事業
- (6)笑いに関する図書、資料等の収集と提供に関すること

事業実績

〈2018年度〉

- 研究所担当講義課目「笑学入門」（2018年度春学期）
- 川西市生涯学習短期大学での講演（2018.8.1、8.8、8.22、8.29）「大阪の笑い文化」
- 福島県立福島高等学校の研修受入れ（2018.10.24、10.25）
- ミニ公開講座「話べたさん」のためのコミュカアップ塾（2018.10.27）
- 門真市「大学教員リレー講座」での講演（2018.11.10）「人と社会を元気にする笑いーユーモアの心理学ー」
- 日本笑い学会オープン講座での講演「放送演芸手法の功罪」（2018.12.9）「越境する笑いの力ーユーモアの行動科学」（2019.2.10）
- 落語鑑賞会（2018.12.21）（社会学部講義「社会文化論基礎」）
- 共同研究
- 各種研究助成への申請
- 2018年度年報の発行

笑う門には福来る